

福島県と包括連携協定を締結

—東日本大震災からの復興および地域の活性化に向けて—

関東学院大学（本部：横浜市金沢区 学長：小山巖也）と福島県は、東日本大震災からの復興および地域の活性化を図ることを目指し、包括連携協定を締結します。

関東学院大学では、法学部が開講する「防災・復興演習」において、福島県浜通り地域で東日本大震災からの復興に関する課題を学修するとともに、地域の魅力を掘り起こし、交流人口増加に向けた施策の提言を行うことなどを目的としたフィールドワークを実施しています。また、今年7月には、横浜・金沢八景キャンパスにおいて福島県の特産品を販売するイベント「ふくしまフェア」を開催し県産品のPRを行うなど復興支援に取り組んできました。協定締結後には、地域創生、産業復興をはじめとする県の政策に関する知見を提供していくほか、双方の連携を強化し以下の事項に取り組んでいく予定です。

連携事項

- (1) 知的資源、人材および諸施設の活用に関すること
- (2) 防災・減災・復興に関すること
- (3) 福島の食の発信に関すること
- (4) 人材の育成に関すること
- (5) SDGsの推進に関すること
- (6) その他本協定の目的を達成するために必要な事項に関すること

締結式

日時：2022年9月16日（金） 15:30～15:45

会場：福島県庁 応接室（本庁舎2階）

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16

関東学院大学 概要

1884年横浜・山手に米国人宣教師が創立した横浜バプテスト神学校が源流。1949年の学制改革により関東学院大学となる。現在では、国際文化、社会、法、経済、経営、理工、建築・環境、人間共生、教育、栄養、看護の11学部を設置する総合大学。
学生数 10,988名(2022年5月現在) 学長 小山 巖也(こやま・よしなり)

取材等に関するお問合せ先

関東学院大学 広報課 伊波 裕美子
TEL:045-786-7049
kouhou@kanto-gakuin.ac.jp
横浜市金沢区六浦東1-50-1